

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	公用車運行管理事業						担当部	総務部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	財政課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	資産管理係							
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		32 税・財政		3 市有財産の有効活用に努める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	11		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	公用車の効率的な運行管理を行い、燃料、修繕料、公課費等の一元管理をする。														
	内容 (手段)	<p>・それぞれの所管する業務ごとに、用途に応じた適正配車と運行管理を行った。</p> <p>・燃料、修繕料、公課費等を一元管理することで、車両継続検査・定期法定点検・修理及び交通事故の保険に関する事務を一括して実施した。</p> <p>・行政バスの使用許可等についての運行管理を適切に行なうとともに、利用者アンケートを実施し、行政バスに対する利用者の満足度を高めた。</p> <p>・幹部会等で公用車事故の注意喚起を行い、事故を起こした職員の部署に対して、勤務時間外に安全運転に関する職場研修を実施し、職員の安全運転意識を高めた。 (研修対象課:道路課・資産税課 H24.11.14実施)</p> <p>・公用車の車検事務について担当課で漏れがないよう注意喚起を行い、年末に公用車を保有する担当課に確認調査を実施した。</p> <p>◆【24年度直接経費の内訳】 燃料費 1,303千円 車両継続検査・修繕費 3,123千円 公課費 1,269千円 保険料 3,810千円 行政バス運行管理業務委託 8,552千円 消耗品等 1,217千円</p> <p>◆【25年度直接経費の内訳】 燃料費 1,805千円 車両継続検査・修繕費 1,919千円 公課費 1,373千円 保険料 4,008千円 行政バス運行管理業務委託 12,400千円 消耗品等 1,023千円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	18,320	18,089	19,274	22,528	
		正職員	従事者数	人	0.80	1.10	1.10	1.10
			人件費	千円	4,264	5,863	5,863	5,863
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	22,584	23,952	25,137	28,391		
	対前年比	%		106.0	104.9	112.9		
財源	一般財源	千円	21,193	23,952	25,137	28,391		
	国・県支出金	千円	250	0	0	0		
	その他財源	千円	1,141	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	行政バス1台当たり使用日数	日	目標	—	—	—
実績				139	139	124	
その他公用車1台当たり使用日数		日	目標	—	—	—	—
			実績	182	166	172	
公用車事故件数		件	目標	—	—	—	—
			実績	12	20	17	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
行政バス利用者の満足度	%	目標	—	—	—	—	
		実績	99	95	95		
その他公用車1日1台当り使用コスト	円/日	目標	—	—	—	—	
		実績	868	1,031	1,009		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	限られた台数の公用車を集中管理することで効率的な運行管理をすることができており、公用車の使用コストと事故件数について向上が図れた。		
		事業実施における課題	公用車のより効率的な管理について研究が必要である。公用車に関する事務は一步間違えると大問題に発展するとが多く、特に公用車の事故、運転手の免許証の更新漏れ、公用車の車検漏れ、公用車・社内手荷物の盗難などの不祥事は新聞などでも報道されるケースが多い。常に公用車における適性な管理を各職場と各職員が行う必要がある。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	公用車を複数台使用する場合や、トラック、ワゴン車など特殊な車両を必要とする場合など、様々な業務に応じた適正な配車、運行管理が困難になる。公用車事故への対応や予防啓発活動が手薄になる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	行政バスの車庫については、旧庁舎西側の専用車庫で保管されているが、旧庁舎については平成26年度に車庫を取壊す予定であり、今後のバスの運行について検討するため、県内各市の行政バスの運行状況について調査を行った。県内各市の調査結果も踏まえ、行政バスの保管方法、バスのあり方などについて、平成25年度秋頃を目途に方針を固める。		
		平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
			判定理由	今後も引き続き、公用車のより効率的な管理について研究を行う必要があるが、公用車の台数・運行管理については財政課や担当課での集中管理体制が整っていることから現状維持とした。	
	26年度以降の改善案	先進市、県内他市の状況等を参考に、公用車の効率的管理の向上について、調査研究を行うとともに、公用車事故の件数を減少させるための事故防止策を引き続き研究、実施する。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。公用車の事故防止に対する取組みを強化すること。